



総23秋金龍誕生！制覇

天候 令和5年 11月3～4日 長崎地方 快晴 最高気温 26.3℃ 最低気温 12.9℃ 風 概ね東北東 1～3m/s
令和5年 11月 5日 雲仙島原地方 快晴 最高気温 22.2℃ 最低気温 11.5℃ 風 概ね東南東 3～9m/s

総23秋ハイパー金龍誕生！超制覇

H320km 部門3回連続完走大分の尾崎選手、鹿児島島の徳留選手。

今回完走走破してめでたく23ハイパー金龍、23金龍ランナーになられた選手の皆様、P103km部門完走された選手の皆様、本当におめでとうございました。今回は秋の大会は三日間とも過去最高に暑熱の大会となって、参加者はさぞ苦しめられたと思います。その暑かったH.Wの両部門ともなんとか40%の完走率を超え大会の存在理由条件をクリアしたことについては、ほっとしております。また

途中リタイヤされた方々の敢闘精神を讃えます。次回に期待しております。今回のH部門完走者の中で65歳以上のベテランレジェンドと呼ぶべき方々が、悉くリタイヤされました。ただ一人66歳の佐賀県の井樋さんが最高齢の完走者でした。もちろんこの方々がHでなくWにエントリーしていたのなら随分と完走率は上がっていたものと思われます。このH部門の開催の基準は熊本の上野さん(19秋68才で最高齢完走記録保持者)が連続してリタイヤしたらこの部門をやめ来年度はW部門のみ開催との予定でしたが、事務局会議、理事会で討議確認したところ、あと3回(2026年度まで)超長距離部門は開催すると選手に一度公言している以上はその部門を目指している若いランナーもいらっしゃることでありH部門は開催するべきとの結論に達し、また70歳以下でのエントリー制限も設けるべきでなく、70歳以上の選手の自身のランライフの最終ステージとして可能性を見出せる部門としてあるべきだとの結論に達しました。あと後継者のスタッフが出現しない限りは3回開催するのは主要スタッフが高齢化して安全に大会を安全に運営維持できるのがあと3年が限度だろうという判断です。4年後には春秋とも超長距離部門は開催せず春新たに100km部門を新設し大会は継続する予定です。

23年度ハイパー金龍(ハイパードラゴン)になつた選手

林哲也47H初W1(福岡) 吉田潤平43H初(熊本) 尾崎陽一46H3W2(大分) 中本逸恵50H2W1(兵庫)
徳留和弘45H3W1(鹿児島) ハ木博則58H初(兵庫) 石原田悠39H初(鹿児島) 中野渡早苗50H2(徳島)
前山隼人62H初W1(佐賀) 田中健吾55H2W1(京都) 櫻木昭宏49H2W1(鹿児島) 岡野良信40H初(岡山)
木下晃弘25H初(岡山) 柳泰走52H初W1(大阪) 藤川愛40H2(東京) 齊藤涉50H初(青森)
井樋直孝66H2W2(佐賀) 金子篤45H初(長崎) 田中祐作51H初(長崎) 山浦靖洋52H初W1(長崎)
古川洋一52H初W1(福岡) 関真紀子58H初W3(福岡) 松尾千尋53H初W1(福岡) 中須賀 武53H初W1(広島)

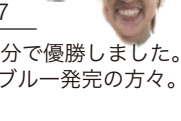
23年度金龍(ゴールデンドラゴン)になつた選手

鮎川裕47W初(福岡) 渡辺正樹54W初(鹿児島) 服部秀弘50W初(福岡) 隈元泰輔48W2(熊本)
田雑雅広55W2H1(長崎) 牧崎茂60W初(佐賀) 笹原順哉42W初(長崎) 盛井恒男61W初(神奈川)
鈴木久60W初(神奈川) 宇佐美展子56W2H1(三重) 後藤綾56W初(大分) 吉田のぞみ43W初(佐賀)
井上智久51W初(福岡) 長島義直48W初(熊本) 末永明54W初(福岡) 山崎知子57W初(北海道)
福田哲52W2(佐賀) 池元宏光53W4(熊本) 佐野美穂58W初(熊本) 森健至61W2H1(大阪)
村井浩二57W初(大阪) 馬越正明65W3(神奈川) 後藤由美51W2(福岡) 原谷京子44W初(兵庫) 後藤文60W2(大阪) 古賀さち子61W初(大阪) 山中稀誉大19W初(福岡) 谷口聡58W初(岐阜)
谷口泰裕58W初(長崎) 渡邊俊明60W初(福岡) 坂井美千代58W初(福岡) 中井万純64W初(福岡) 森本園子63W3(兵庫) 中島忍52W2(大阪)

氏名もあと年齢表記してあるのは、70歳以上の高齢者ランナーが一年でも長くこの部門に挑戦意欲を持っていたいただきたいが為ですので、女性の方々のご理解を賜りたいと思います。



今回は各部門とも鹿児島島の活躍が光ってましたが、なぜやろ？



H 部門男子優勝	林 哲也 (福岡県)	45:03:26	第2位	吉田 潤平 (熊本県)	48:41:37	第3位	尾崎 陽一 (大分県)	51:14:36	第4位	徳留 和弘 (鹿児島県)	53:49:06
H 部門女子優勝	中本 逸恵 (兵庫県)	51:14:36	第2位	中野渡 早苗(徳島県)	56:30:64	第3位	藤川 愛 (東京都)	58:22:28	第4位	関 真紀子 (福岡県)	60:31:34
W 部門男子優勝	鮎川 裕 (福岡県)	46:42:33	第2位	渡辺 正樹 (鹿児島県)	48:15:53	第3位	服部 秀弘 (福岡県)	48:59:56	第4位	隈元 泰輔 (熊本県)	50:51:45
W 部門女子優勝	宇佐美 展子 (三重県)	54:39:52	第2位	後藤 綾 (大分県)	54:44:53	第3位	吉田 のぞみ (佐賀県)	54:44:54	第4位	山崎 知子 (北海道)	55:29:39
P 部門男子優勝	嘉藤 修一 (福岡県)	10:33:33	第2位	野口 大器 (長崎県)	10:49:49	第3位	別府 浩司 (福岡県)	11:20:20	第4位	田中 利章 (佐賀県)	11:24:07
P 部門女子優勝	緒方 麻里子 (福岡県)	12:45:35	第2位	坂井 真弓 (福岡県)	12:59:00	第3位	橋口 さおり(鹿児島県)	13:02:02	第4位	山田 真樹 (長崎県)	13:56:17
P 部門招待選手の部	女子優勝	望月 千幸 (長崎県)	10:38:31	H男子優勝	林哲也さん、	昨年W部門47時間19分で優勝を飾りましたが、今回43kmも長いH部門をなんと45時間03分で優勝しました。					

ものすごい進歩でスーパーランナー仲間入りを果たした様です。H女子部門は国内女子スーパーランナーの常連さんが上位独占。関さん、松尾千尋さん、よくがんばりました。W男子上位3人は共に初ダブル発完の方々。5位以下の方々も、初挑戦一発完走の方が多いのが今年の特徴です。また苦節数回ののちに初完走された方々にはよく諦めなかった事を讃えたいと思います。

大会が注目しておりますHW両部門の60歳以上の完走比率は下記のようになりました。 H部門 60歳～64歳以下 1/7名 65歳～69歳以下 1/7名 70歳～75歳以下 0/3名
W部門 60歳～64歳以下 9/18名 65歳～69歳以下 1/2名 70歳～81歳以下 0/6名 H・Wも70歳以上のランナーは2年連続全滅しました。9人参加して完走者なしの事態をもって今後のエントリーは制限を設けるということではなく、各選手のハイパーからダブルへ、またはP103への変更とも合わせて選手自身の思慮のもとでご判断に任せることに致します。 全国各県別エントリー

	完走者数と出走者数			完走率		
	女性	男性	総合	女性	男性	総合
H 部門	5/9	19/49	24/58	55.6%	41.4%	41.4%
W 部門	13/23	21/53	34/76	56.5%	39.6%	44.7%
P 部門	27/33	79/101	106/134	81.8%	78.2%	79.1%

H 部門 出走者	60名 58名	福岡県 13 長崎県 6 熊本県 6 大分県 5 兵庫県 5 東京都 3 鹿児島県 3 岡山県 3 北海道 2 神奈川県 2 宮崎県 2 愛知県 2 奈良県 1 大分県 1 山口県 1 青森県 1 広島県 1 徳島県 1 佐賀県 1 京都府 1	出走率 96.7%
W 部門 出走者	81名 76名	福岡県 20 熊本県 7 長崎県 6 北海道 6 兵庫県 6 佐賀県 6 大分県 6 神奈川県 3 大分県 3 島根県 2 鹿児島県 2 山口県 1 東京都 1 徳島県 1 広島県 1 香川県 1 岐阜県 1 三重県 1 茨城県 1	出走率 93.8%
P 部門 出走者	148名 134名	福岡県 32 長崎県 23 熊本県 14 大分県 10 佐賀県 5 東京都 3 宮崎県 3 北海道 2 兵庫県 2 栃木県 2 大分県 2 青森県 2 埼玉県 2 広島県 2 富山県 1 福島県 1 石川県 1 徳島県 1 山口県 1 宮城県 1 岡山県 1 愛知県 1	出走率 90.5%

今回も大会運営の至らない点や行き届かない点が多々ありましたことをお詫び申し上げます。これに凝りませずまた長崎に走りにおいてくださることを祈っております。

なにはともあれ秋の大会が無事終了できましたこと、神仏の御加護に感謝しますとともに選手ボランティアの皆様、御礼申し上げます。 2024 春の野母崎・諫早ステージでまたあ会いませう！

お願いのこと

当大会は現役のランナーの善意のボランティアで成り立っています。出場5回から10回に達したランナーの方は次はどうかボランティアに回っていただけないでしょうか？たまにはランナーを外から見のもいいですよ。

金龍うねる路

長崎橘湾岸スーパーマラニック 273

